



住みよい町づくりへ  
議会と住民をつなぐ

第**49**号

平成23年4月20日

# 河津町議会だより



さくら幼稚園卒園式

## 主な内容

- 第1回定例会..... 2 P
- 予算審査特別委員会、臨時会..... 3 P
- 町長の施政方針、行政報告..... 4～5 P
- 議案説明..... 6 P
- 一般質問..... 7～12 P
- 一部事務組合議会報告..... 13 P
- 議会の動き、編集後記..... 14 P

## 平成23年 第1回定例会 (要旨)

3月8日より17日まで10日間の会期で開かれた第1回定例会は、町長の施政方針と行政報告につづき、6名が一般質問を行いました。議会は平成23年度予算9議案、22年度補正予算6議案、報告案件1議案、人事案件1議案、条例案件5議案、指定管理者の指定案件17議案、財産の無償譲渡案件等3議案、発議1議案の43議案等を審議し、原案可決、承認しました。なお23年度予算は、予算審査特別委員会で審議され、6項目の意見書を附帯しました。

### 可決された平成23年度予算 (単位：千円)

○一般会計予算	3,474,000
○河津駅前広場整備事業特別会計予算	7,109
○河津町土地取得特別会計予算	430
○河津町国民健康保険特別会計予算	1,312,818
○河津町介護保険特別会計予算	703,731
○河津町後期高齢者医療特別会計予算	87,103
○国民宿舎「かわづ」運営事業特別会計予算	8,609
○水道事業会計予算	275,688
○温泉事業会計予算	84,837

### 可決した22年度補正予算

○一般会計補正予算(第11号)	○後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出 …… 46,473千円追加	歳入歳出 …… 361千円追加
総 額 …… 3,686,096千円	総 額 …… 86,315千円
○国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○水道事業会計補正予算(第4号)
歳入歳出 …… 10,853千円減額	資本的収入 …… 34,100千円減額
総 額 …… 1,311,131千円	資本的収入総額 …… 127,700千円
○老人保健特別会計補正予算(第2号)	資本的支出 …… 33,300千円減額
歳入歳出 …… 5,090千円減額	資本的支出総額 …… 168,323千円
総 額 …… 6,103千円	
○介護保険特別会計補正予算(第5号)	
財源更正	
総 額 …… 680,137千円	

### 発 議

河津町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について。

## 予算審査特別委員会

予算審査特別委員会(委員長 宮崎啓次)は平成23年度予算9件について、11日、14日、15日、16日、4日間審査にあたりました。

### 予算審査特別委員会

委員長 …… 宮崎啓次  
委員 …… 小林和子、土屋 貴、渡辺 弘、吉田重好、稲葉 静  
川下英一、萩原清男、山田 勇、土屋桑太郎、坪井弘司

### 予算審査特別委員会の意見

- ①バガテル公園の経営については、町有施設等検討委員会の答申を早期にまとめ経営改善を図られたい。
- ②放課後児童クラブの運営については、児童が等しく利用できるよう図られたい。
- ③土地の賃借料については、第三者の意見も取り入れ、公平化を図られたい。
- ④鳥獣害対策については、県、関係団体との協力体制を強化するとともに、町単独の対策を講じられたい。
- ⑤田中バイパス(田中～笹原)については、早期開通に向けて取り組まれたい。
- ⑥防災対策を見直し、具体的かつ実効性が上がるよう努められたい。

## 平成23年 第1回臨時会

2月8日に開かれた第1回臨時会は以下の議案を可決しました。

- 議案第1号  
平成22年度地方特定道路整備事業町道荻ノ入2号線道路拡幅工事変更請負契約について
- 議案第2号  
平成22年度河津町一般会計補正予算(第10号)



## 町長の施政方針及び行政報告（抜粋）



## 施政方針

## 平成23年度当初予算

一般会計当初予算、34億7,400万円、前年比3,800万円1.1%の増、厳しい財政状況の中、将来に向けた基盤整備に配慮しつつ、町民本位の政策をできる限り取り入れ、限られた財源の中で、最大限の効果を出せる予算編成をした。歳入は、町税全体で前年比0.6%の減、自主財源全体で923万3千円の減、交付金は微増、地方交付税は増額計上、国庫支出金は緊急雇用創出事業等で増額、町債は建設事業総額の減少等で、27.4%の減、依存財源全体で、4,723万3千円、前年比2.1%の増、歳出、人件費は微減、子ども手当や扶助費の増で、義務的経費は3,629万1千円、前年比2.5%の増、物件費等の経常経費は1億4,372万9千円、前年比4.9%の増、投資的経費は大規模な整備が終了した事で7,685万7千円の減、前年比30.8%の減となった。福祉関係は、子育て

て事業の開設、国県の補助制度を活用し、ワクチン等の接種事業に取り組む。防災関係は、自主防災組織への資機材等の補充、貯水槽の整備、消防ポンプ車の更新等を行う。

## 平成23年度主な事業

## ●総務課関連事業

町の将来ビジョンの実現に向け、機構改革を実施、4月1日から現在の8部局を9部局に、18係を21係に再編、退職予定者は1名、新規採用4名を予定、実質3名の増、公共交通関係は、泉奥原、大鍋、小鍋、上佐ヶ野で継続して実施。

## ●保健福祉課関係事業

公費負担による3種類のワクチン接種事業の実施。放課後児童クラブの開設、4月から準備に入り6月事業スタートの予定。地域福祉計画（平成24年度から平成28年度まで）5年間の福祉計画の策定。

## ●産業振興課関係事業

鳥獣害対策、現在「河津町鳥獣被害防止計画」を策定し、県と協議中、漁業関係、平成23年度河津町漁業経営振興会を発足し、経営の安定化や後継者育成をはかる。商工振興関係、緊急経済対策事業として、住宅建設等に対する助成事業の実施。観光イベント関係、七滝湯ヶ野、峰温泉、見高

入谷高原温泉で集中的にイベントを実施する。観光施設整備事業、本年度も桜並木整備として沢田から川津筏場地区までの間で実施。谷津南禅寺整備は、本年度作業路整備を行う。その他、湯ヶ野湯坂の路面の改修工事を実施。

## ●建設課関係事業

県単独水路改修工事、大堰地区、県営治山工事を大鍋地区、県営の中山間地域整備事業で農道、用排水路施設整備を見高入谷、上佐ヶ野地区で行う。道路改良工事は、町道佐ヶ野1号線、町道沢田峰線を実施。橋梁関係は、町内25ヶ所の町道橋梁の調査、点検を実施。県営の土木関係は、国道414号逆川地区道路拡幅工事を予定。下佐ヶ野谷津線歩道整備790mの用地買収に入る。田中バイパスは、今年橋梁の上部工を施工し完成。県道河津下田線は、縄地地区で国道から400mを地権者と協議しながら実施。県道湯ヶ野松崎線は県単工事で、大鍋地内の拡幅工事を予定。砂防事業は、大堰地区桃木沢の砂防ダム整備、梨本地区荻ノ入砂防事業は用地買収の予定。水道事業は、泉奥原水源改修工事、川横地内の配水池までの送水管の布設工事、老朽化した大堰浄水場の耐震化を図るための改修工事を実施。

## ●教育委員会関係事業

夏場の暑さ対策として、各小学校のパソコン室と校長室にエアコンを設置。学校施設の整備では、南小体育館屋根改修工事、中学校体育館雨漏り改修、中学校外周フェンス改修工事を実施。

## 行政報告

●河津町第4次総合計画  
平成23年4月から平成32年3月までの10ヶ年の町の将来像の策定。

●伊豆半島ジオパーク構想  
伊豆半島の貴重な地質財産と自然、文化、産業遺産等を保全、研究し、継続的事業運営をするために、7市7町で協議会を立ち上げる予定。

## ●町営バス運行

高齢者福祉対策の一環として実施してきた試験運行を、よりよい交通システムの構築を目指して引きつづき検討。

## ●消防関係事業

J A 共済静岡県本部及びJ A 伊豆太陽農協の「安心安全プロジェクト」の一環として消防組合河津分署に高規格救急車が寄贈された。

## ●特定健康診査

町民の健康を維持していくために23年度から特定健康診査を受診せず、人間ドックを受診する国保加入者を対象に、受診料の助成を行う。

## ●住民税特別徴収制度

個人住民税の収納対策の一環として23年度より、従業員が3人以上の職場を対象に特別徴収義務者に指定し、納付していただく特別徴収制度の強化を、他市町に先駆け実施する。

●子育てサロンの利用状況  
昨年10月スタートした子育てサロン、2月末までの利用状況は、1,849人、1日当りの利用状況は19.7人。

## ●共立湊病院の新病院計画事業の経過

2月25日旧下田南高建設地において起工式が行われた。組合議会2月定例会も開催され、すべての議案が原案どおり可決された。新病院は、建設総事業費35億円余の大型事業であり、地方交付税と指定管理者負担金により、すべて賄われます。

## ●河津桜ツーデーマーチ

13回目を迎えた今大会は2日間で1,382人参加、各種運営にご協力いただいた皆様にお礼申し上げます。

## ●第21回河津桜まつり

2月5日から、3月10日まで約1ヶ月の開催、本年新たにB級グルメイベントを開催、多くのお客様に喜んでいただいた。ボランティアをはじめ多くの皆様のご協力にお礼申し上げます。入込人数は、100万人に達する見込みである。

## ●観光施設の入込状況

河津バガテル公園、観光

不況の中、極めて深刻な状況、入園者は7万人を割り込む状況、温泉会館は、両施設とも築18年を経過し、老朽化により修繕等が増加し、両施設で2,430万円程の支出超過の見込。

## ●観光施設整備事業

河津城跡公園が2月に完成、河津の埋もれた歴史資源を再整備、歴史にふれあいながら河津川が一望できるスポットとして期待。案内標識整備工事は、東海建設(株)が2,581万7,400円で、桜並木整備工事(その2)はさくら建設(株)が661万2,900円で、浜菖蒲沢海岸公衆トイレ建築設計業務委託は51万4,500円で、野田建築設計事務所がそれぞれ落札し契約した。

## ●工事入札結果

町道大堰笹原線路側補修工事、東海建設(株)が197万4,000円で落札し、契約した。県営農免農道見高稲取4期地区整備、平成21年度繰越事業、平成22年度事業と合わせて実施した見高入谷1号線、横断箇所を設置工事が完成、これで県営の農免農道見高稲取4期地区の事業が全て完了し、全線開通となった。

## ●教育委員会関係

南小校舎屋上改修工事、平成21年度地域活性化きめ細かな臨時交付金により進めてきた屋上改修工事が完成。



## 委員の選任、条例の一部改正、補正予算

◎報告第1号  
専決処分、車輛事故による損害賠償額  
(法第180条第1項)  
144,119円(共済)

◎同意第1号  
教育委員会委員  
見高2295の1 福司康人  
昭和27年5月24日生

◎議案3号  
課設置条例及び議会委員会条例の一部を改正する条例について  
「総務課」の次に「まちづくり推進課」を加え、「窓口税務課」を「町民生活課」に改める

◎議案第4号  
手数料徴収条例の一部改正について

◎議案第5号  
観光施設の設置・管理条例について、第2条に加える河津城跡公園 笹原379・1・2

◎議案第6号  
災害被害者への町税の減免に関する条例・災害被害者への国民健康保険税の減免に関する条例は廃止

◎議案第7号  
定年退職者の再任用に関する条例等の一部改正の条例について  
字句の訂正・語句の改め・標示内容の改め等

◎議案第8号～第24号  
公の施設の指定管理者指定について

◎議案第25号  
財産の無償譲渡について

見高字萩久保地内の河津桜245本を(株)伊豆急行に譲渡。

◎議案第26号  
河津町第4次総合計画の制定について

◎議案第27号  
財政調整基金の取崩しについて  
財政調整基金から50,000千円を一般会計に繰出する。

◎議案第28号  
平成22年度一般会計補正予算(第11号)

◎議案第29号  
平成22年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

◎議案第30号  
平成22年度老人保健特別会計補正予算

◎議案第31号  
平成22年度介護保険特別会計補正予算(第5号)

◎議案第32号  
平成22年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

◎議案第33号  
平成22年度水道事業会計補正予算(第4号)  
平成23年度予算について

◎議案第34号  
一般会計予算

◎議案第35号  
河津駅前広場整備事業特別会計予算

◎議案第36号  
土地取得特別会計予算

◎議案第37号  
国民健康保険特別会計予算

◎議案第38号  
介護保険特別会計予算

◎議案第39号  
後期高齢者特別会計予算

◎議案第40号  
国民宿舎「かわづ」特別会計予算

◎議案第41号  
水道事業会計予算

◎議案第42号  
温泉事業会計予算

### 新規事業 (単位:千円)

- 町有施設検討委員会 183
- 地域資源活用事業 ...500
- 放課後児童クラブ10 382
- 任意予防接種.....19,909
- 水産基盤整備事業  
計画策定調査 .....8,000
- 菖蒲沢公衆トイレ整備  
.....16,000
- 消防ポンプ車購入...22,689
- 耐震性貯水槽設置 9,000
- 煉瓦の洞遺跡保存 2,852
- 鳥獣害対策 .....5,360
- 都市計画マスタープラン  
策定.....11,327
- 町道佐ヶ野1号線  
道路工事 .....9,944
- 町道沢田峰線拡幅工事  
.....9,012
- 県単治山工事(大鍋)...9,800
- 県単水路改修(大堰)...5,500
- 湯ヶ野湯坂路面改修 5,000
- 橋梁長寿命化修繕計画策定  
.....7,478
- 災害対策資材置場造成の  
ための調査 .....4,300
- GISシステム構築事業  
.....2,726
- 小中学校エアコン設置  
.....5,649

## 一般質問

### 活性化対策、補助事業は

#### 町長ー地域資源活用事業補助金を

質問...生活環境も含めた活性化対策、補助事業として、新たに取り組む事業、見直す事業は。

町長...地域資源活用事業補助金です。町内の各団体、各地区において地域資源の活用、新たなブランド創出に取り組む人達への補助。観光イベント、地場材活用地元業者の木造住宅へ補助。漁業者の熱い思いから漁業経営振興会への援助。見直

しは、合併浄化槽と結婚祝い金。

質問...放課後児童クラブ設置に取り組むが今後子育て保育政策は。保育ママさん等サポートシステムは。

町長...産んでよし、育ててよしの環境づくりに取り組む。保育ママも登録制人材バンクも考えたい。

福祉課長...子育て支援センターとし、一時預り保育も。



子育てサロン

#### 観光施設運営対策は

#### 町長ーまちづくり推進課設置と委員会設置

質問...バガテル公園に使用料減免、指定管理委託料の援助をした。町営施設の温泉会館、花卉園も厳しい状況であり、今後の対応は。

町長...まちづくり推進課の設置により、バガテル公園との連絡を取り合い、町としてバックアップ体制をとる。入園ゲートの移設も考

え、町民が利用できる公園を目指す。町営施設は委員会を設置し検討をし対応をしたい。

質問...バガテル公園運営基金も底をついた状況になり、早急な対応を。町営施設も同様であり、町も一緒になって取り組んでほしい。

町長...バガテル公園の園芸管理費用が年間3,680万円かかり今後の課題です。町営施設も含めスタッフの意見も聞きお客様のニーズに合った営業を目指したい。



渡辺 弘 議員

#### 共立湊病院は

#### 町長ー診療科の減と入院者の減

質問...長年病院運営、経営に御苦労をいただいた地域医療振興会から静岡メディカルアライアンスに指定管理が変るが、医療について変る事があるのか。

町長...診療科8科が3科に減少し、入院ベッドも50床になり、非常に変ると思います。救急については、初期及び2次救急対応と聞いております。

質問...町内でも通院、入院されている方が居ります。患者さんの安心、安全を図っていただきたい。今後は人口減少対策も含め産婦人科の診療を強く要望します。又、負担金については今まで通り交付金のみの対応でお願いしたい。

町長...産婦人科は厳しい状況だが要望はしていきたい。負担金は町として今まで通り、と認識している。



## 23年度の被害対策は

### 鳥獣被害対策について

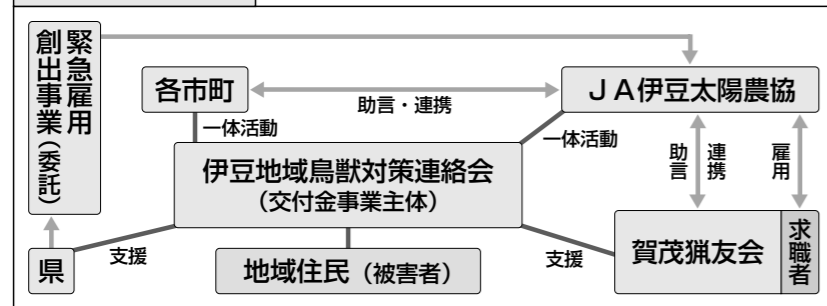
質問...23年度の被害防止計画の内容、予算額は。

町長...野猿追い払い器具に新規に90万円増額計上。交付金事業活用した対策で1市5町で1,200万円の予算。県が主体の緊急雇用創出事業活用の被害対策としてJA伊豆太陽に委託し、1,430万円の予算。

産業振興課長...町内の防止計画の内容は、対象鳥獣は猪、鹿、猿、台湾リス。取組みは狩猟免許取得の奨励、箱ワナ購入、普及促進、報

償金制度の充実、生息環境の改善、アンケート調査など、捕獲体制は猟友会に委託。各鳥獣の捕獲目標数も定めた。侵入防御柵、啓発事業も並行して。これらは平成24年度までの事業。交付金事業は伊豆地域鳥獣対策連絡協議会に集約し、事務局はJA伊豆太陽農協に依頼。事業の内容は被害防止の講習会、免許取得講演会、箱ワナ、追い払い機材の導入など。町の23年度事業でも各種機材の購入費は昨年より増額し、666万円を計上。保有する機材もふえると思う。

### ＜協力の体制＞



### 経済の活性化は

質問...深刻な地域経済低迷の中、活性化対策として各地で住宅リフォーム助成制度の実施が行なわれている。近隣市町村でも実施している例がある。東伊豆町の場合：町内の施行業者が行なう工事に対し、工事費100万円以上は10万円の補助。10万円以上～100万円未満は工事費の10%補助。H22の助成額は300万円で総工事費は5,940万円(効果は20倍)

施工は36件あった。河津町に於ても実施の検討は。町長...町内の建築業界の経営環境が悪化している。少子化と後継者がいないという要件で増築・新築も減っているかと認識。町として23年度に債務負担行為をし、24年度から住宅建設等助成事業補助金として交付の予定。この制度は町民が町内業者と契約し、地場材を使用する住宅を新築・増築した時、翌年からの固定資産税相当額を3年間補助する



小林和子 議員

制度。今回取組む制度とリフォームの助成は若干意味合いが異なるが、この点については検討してみたい。保健福祉課長...福祉の立場からのリフォーム助成について①介護保険利用の住宅改修と居室の支援がある。手すりや段差の補修が対象。上限20万円を支給。介護度段階での申請による。②重度身体障害者の方の住宅改修費助成制度がある。3級以上の障害の方を対象に手すりの取り付け等の改修に上限20万円まで支援。改修の1割は個人で、残を公費で負担。質問...福祉的立場からの助成に更に異なる改修にも併用して助成できるような制度として再考してはどうか。町長...工事内容の制約など一考を要する。100万円以上の工事でないかとも思うが検討をして。質問...他市町村の例を参考にして住民がより利用しやすく、業者にも利の出る様な事業として要望。

## 町長の政治姿勢は

### 町長－共生、共創、共働の3つの指針

質問...施政方針は町長...私の政治姿勢については3つの指針をもって町政に取り組みさせていただいている。学校給食費の助成、子育てサロンの開設等を含めた子育て支援対策、試験的ではあるが町営バスの試験運行で空白地域へのバスの運行と併せて高齢者福祉対策にも取り組んでいる。初めて新年度予算編成に取り組みさせていただいた。町を取り巻く環境、少子・高齢化また過疎化で人口減少が進む中で、財政状況は非常に厳しくなっているが、町民の要望にはしっかり応

えていかなければならないので町民に密着した予算編成をさせていただいた。新たな事業として地域資源を生かしたまちづくりの交付金、住宅建設への助成、観光面では地域で取り組んでいただいているイベント支援への事業の補助や県の補助金を生かした環境整備にも取り組む予定。バガテル公園、踊り子温泉会館、サンシップ今井浜等の観光施設の経営の立て直し、まちづくりに対して観光整備に力を入れ、桜並木の整備事業等を進め上地区では耐震基準にクリアしない国民宿



CDがITに変わります

舎かわづを含めた湯ヶ野地区、上地区の活性化にもしっかり取り組んで行く。質問...町例規集はCDにしているがインターネットに公開するつもりはないか。町長...情報公開の基本姿勢から本日の議会傍聴される方にも印刷物を配布している。町に公開を求めて来ていただいている方々にも、文書等も



川下英一 議員

公開し、何の隠しもなくしっかりと町政を進めている。総務課長...早い時期に町のホームページに載せるように、今準備をしています。質問...規約の改廃、隣接市町との施設の相互利用協定の見直し等、情報発信する前に精査すべき。町長...条例、規約については改正されていないものが非常に多い。副町長指導のもと職員に指示した。副町長...情報公開ということもさりながら町の行政運営に当って、その基本が、条例であり規則、要綱であると判断。例規の見直しをしている。質問...市町村職員勤奨退職規約の勤奨期間は2年間か。町長...期間の規定がないので非常に難しい判断。質問...議員報酬と各種委員会の費用弁償(日額5,100円)は、二重支払いに当たらないか。またその総額は。総務課長...22年度2月末で216,000円です。町長...正直言って答えられないような状況。議員と、精査しながら検討していく。



## バガテル公園の再建策は

町長－検討委員会を設置し、施設のあり方・経営のあり方等を協議する

質問...バガテル公園には、22年度指定管理料として3,000万円、土地・建物賃借料の減免などあわせて合計約6,300万円の支援である。早急に対策を講じるべきである。

町長...公園の経営については、非常に厳しいとの認識を持っている。3月中に検討委員会のメンバーを選定し、施設のあり方・経営のあり方等について諮問する。質問...部門別の費用対効果の徹底を図れ。提案であるが、公園周辺にカーネーション園・菖蒲園・桜公園等を整備して、花の町としての誇りを持てるようにしたい。町長...園芸部門の費用が大きい。ショップの運営を含め検討する。私は、鍛冶屋沢線を花の一体の公園としての構想を持っている。今

後検討する。

三筋山の風力発電の進捗状況は

町長－県の結論は、審議会や有識者の意見を秋までに取りまとめる

質問...三筋山の風力発電に関して、静岡県、東京電力、地元財産区等の動きは。町長...県の動きとして、保安林の解除については、不作為の違法性を問われないように、森林審議会を開催する。また、伊豆半島の風力発電に関する有識者会議を立ち上げる。見高財産区の契約については、防災上の面からも危険が伴うこともあり、搬入路の入り口までの契約を東京電力と契約した。しかし、町有地等については、県知事の意向を待って判断する。



河津バガテル公園正門



坪井弘司 議員

共立湊病院における  
医師の確保できたのか

町長－医師の確保がなされ、本年4月より引き継がれる

質問...組合議会だよりが、町民に配布された。それによるとお医者さんが13名になっている。今日の行政報告では10名といった。医師や看護師等確保して2次救急体制が出来るのか。町長...3月2日の首長会議で常勤4名、非常勤6名の医師が確保されたとの報告を受けている。また、賀茂地域における救急医療体制は、共立湊病院・伊豆下田病院・西伊豆病院の3医療体制で行われる計画です。質問...静岡メディカルアライアンスに対して、来年5月まで運営するのに、医師確保や赤字補填としての約1億5,000万円の負担をするとの約束がされている。河津町としての赤字負担は。町長...病院組合には6億3,400万円の流動資産があり、この中から支出されず。よって、町からの補填はしないと、首長会議で確認している。

## (株)河津バガテル公園の今後の方向性は

町長－検討委員会を立上げ指定管理を改めて見直す

質問...(株)河津バガテル公園の運営状況は。

町長...(株)河津バガテル公園の傘下にある3施設の収支状況は、バガテル公園は3月6日現在入園者が前年比の74.9%で約6万5,600人、売上げも前年比の84%、1億3,034万円余りで年度末決算でマイナス約3,390万円。国民宿舎かわづは、宿泊者、売上等前年比約92%、年度末決算で約60万円の黒字を見込んでいる。七滝観光センターは、前年比約92%で60万円の黒字を見込んでいる。質問...3施設、それぞれの従業員数と給与の支払い額は。

産業振興課長...グループ合計人数、給与額、平成23年度2月末決算見込。

バガテル公園は24人、給与額、8,170万1,457円。国民宿舎かわづは14人、2,889万8,992円。七滝観光センターは34人、854万1,675円。



河津町へ建設予定病院のイメージ図

質問...改善計画時期、実施計画時期の目標は。スタッフ数は。

町長...検討委員会を立上げ、7月中には提言を。

副町長...委員のメンバーとして、観光事業者、一般町民それから経営の専門家2人を考えている。

提案...バガテル公園にカーネーション園を移転してバラの花が無い時期にも入園客を集めては。

公立病院建設の動きと  
地域医療について

町長－市町に負担を求めず  
病院建設計画

質問...SMAの病院経営について15年間の指定管理期間、赤字が出た時の河津町の補てんは。

町長...総事業費が約35億のうち、6億5,000万円を自己資金。残り約28億円余は起債、事業債は国からの交付金と指定管理者で返済計画、



吉田重好 議員

市町の負担はないと理解している。

質問...病院組合会計は平成24年度には、12億2,000万円の赤字が出るとの事だが。保健福祉課長...現病院の取り壊し解体費用、建物の残存価格にかかる資産減耗費が内訳です。

質問...4月からSMA共立湊病院は、二次救急を担うことが出来るか。医師13名と言うが実際には、1人ではないか、また、診療科目についても、内科、外科、整形外科、小児科と言うが実際には内科だけと聞いているが。

町長...医師の人数は常勤医師4名、非常勤医師6名、診療科目は内科、外科、整形外科、小児科と報告を聞いている。

質問...町内に病院が建設されたときの波及効果、経済効果は。

町長...東伊豆町を含めた東賀地区の医療の充実、また雇用の場の確保、食材、資材等の納入、産業振興また町にとっては温泉をぜひ利用していただきたい。



## 基本計画における高齢者対策は 町長—ここ数年のうちに町民だけが入所 できるサテライト施設の建設

質問...町内にある特養ホーム等の介護施設の入居状況と拡充計画は。

町長...サンシニアについては、入所者70名、待機者168名いる。その中で町内待機者64人いる。施設の増設について、協議している。

保健福祉課長...23年度予算に計上してあるように、第5期介護保険計画を策定する。計画の策定のなかで、県の補助金を含め増床等を考える。

質問...基本計画を絵に描いたモチにしない為には、町長自らの言葉で、役場職員に説明し、計画の実現に向けて、強い姿勢を示すべきである。

町長...総合計画が可決された後で、職員に対し細かい計画等を示していく。



カーネーション見本園

### 町内の産業育成・ 強化の取り組みは

町長—産業別にきめ細かい  
振興策を推進する

質問...定住人口の増加に寄与するのは、町内の産業育成・強化である。産業振興策について、具体的に示されたい。

町長...花卉栽培の振興に努めると共に、農業振興会やJA伊豆太陽との連携強化。建設業については、住宅助成に取組む。商工会と協力して桜ちゃん商品券の地元商店の利用拡大を図る。副町長...国や県さまざまな補助制度・支援策の活用をいち早く取り入れる。例えば、買い物弱者支援策がある。資料をサービス店会に提供したら、研究を開始した。日頃から情報収集に努めその活用を図るよう、新年度か



土屋 貴 議員

らの取り組みを指示した。

### 観光振興策を どう考えているか

町長—花と温泉を生かした町  
づくりに、食に文化や  
伝統芸能を取り込む

質問...交流人口200万人を実現していくには、町内にある観光資源の見直し、点から線へ、線から面の資源にするデザインが必要だ。

町長...今後整備する南禅寺の仏像をはじめ、町内にある伝統文化についても、観光資源としたい。城山の整備を行ったが、笹原や浜から城山、そして田中・見高浜と一体で考えることが、滞留時間を長くすること。

質問...バガテル公園の経営的資料(特にキャッシュフロー)の議会への提出の確約。伊豆地区が地域間競争に勝っていくには、連携強化が必要。

町長...バガテル公園の経営資料は、議会に提出する。伊豆観光推進協議会とか伊豆東海岸国際観光モデル地区協議会等を通じて、伊豆が1つに成るように取り組みたい。

# 一部事務組合議会報告

## 共立湊病院 組合議会

2月25日に定例会が開かれ、本町の坪井弘司議員が、現病院の指定管理期間におけるSMAの医療体制について、南伊豆町の横嶋隆二議員が、新病院運営と地域連携について、周産期医療の考え方について、一般質問を行った。

報告第1号、専決処分の承認を求めることについて(平成22年度共立病院組合事業会計補正予算)(第3号)

議案第1号、平成22年度共立病院組合事業会計補正予算(第4号)

議案第2号、平成23年度共立湊病院組合事業会計予算

議案第3号、平成23年度共立病院老人保健施設特別会計予算

発議第1号、(仮称)下田メディカルセンターの充実に向けた支援を求める意見書を議決した。

その他、湊病院将来構想調査特別委員会の報告があり閉会した。

尚、同日下田南高校跡地

において起工式が行われた。新病院は、建設総事業費35億円余の大型事業であり来年5月に完成予定である。

## 下田地区 消防組合議会

2月22日に定例会が開かれた。平成22年8月1日から平成23年1月31日までの事業報告では、火災発生は組合全体で20件、前年比9件の増、河津町3件で1件の増。救急出動件数は全体で1,348件、搬送人員は1,242人であり、前年比出動件数108件の減、搬送人員85人の減、河津分署では出動222

件で36件の減である。ドクターヘリの運航状況は、組合から搬送要請件数50件、搬送は49人であり、前年比14件の減、15人の減であった。また消防広域化の見通しについては、駿東伊豆地区8市8町では、①全体の一体化、②二分割、③2次医療圏ごとの三分割、の計3案あり、下田・賀茂の3本部としては全体を一体化させる案で意思統一されている。2月28日には河津分署に高規格救急車が配備された。これは全国JA共済静岡県本部及びJA伊豆太陽農協から車両の寄贈を受けたものである。



新しく配備された高規格救急車



土屋 隼太郎 議長

### 議長の諸般の報告と 議会の動き

平成22年12月

12日 11月分例月出納検査  
結果報告書

平成23年 1月

5日 河津町消防団出初式

9日 河津町成人式

13日 町都市計画審議会

14日 町産業経済活性化連  
絡協議会新年賀詞交  
歓会

18日 県知事広聴事業

「平太さんと語ろう」

東伊豆町議会と交流会

28日 河津バガテル公園運  
営支援説明

2月

4日 賀茂郡町議会議長会

6日 第21回河津桜まつり  
オープンイベント

8日 河津町第1回臨時議会

20日 炭焼の会交流会

23日 富士見の式典

27日 河津城跡公園記念イ  
ベント

3月

3日 議会運営委員会

(副議長出席)

4日 駅前広場管理運営委  
員会

## 一部事務組合議会報告

### 伊豆斎場組合議会

2月22日平成22年度2月定例議会が下田市で開かれた。河津町議会議員の改選に伴い、吉田重好議員の議席指定と、副議長に南伊豆町の稲葉勝男議員を選出。管理者の石井下田市長の行政報告で、4年をかけた火葬炉の修理、又耐震診断が終り、23年度で耐震補強工事を行うとの報告がされた。議案審議では報告第1号で平成22年度の補正予算の専決。議案第1号では組合の監査に関する条例の一部改正。議案第2号は平成22年度補正予算で4,760千円を基金積立金に支出し、23年度耐震補強工事に充当との報告である。議案第3号で平成23年度組合会計予算が上程され、歳入、歳出それぞれ、42,457千円で前年より635千円増。市町の負担金は26,010千円で河津町は4,172千円。それぞれの議案を承認可決。

### 東河環境センター議会

2月18日、東河環境センターの議会が開かれた。議案第1号は、平成22年度会計補正予算、議案第2号は、平成23年度会計予算が提出された。補正予算は、人事院勧告に伴い職員給与の引き下げ・し尿処理費用の増額が審議された。平成23年度会計予算は、歳入歳出の総額653,261千円(前年比1,924千円増)である。河津町における分担金は227,052千円(2,672千円増)である。し尿処理費は減額だが、ゴミ処理費が増えた。支出のうち、焼却炉補修工事や修繕費が多くなっている。それぞれが審議され、原案可決承認された。

## 編集後記

3月11日の東日本大地震発生により、多くの犠牲者が出ました。心よりお悔み申し上げます。我が町に於ても早速、募金活動も実施され町民皆様の心づかいに感動しました。災害について河津町も東海地震の問題もあり他人事ではありません。自然災害を甘く見ないで、防災意識をしっかりと持ち、取り組みたいと思います。(わたなべ)